

## 「食」を通じてすべての人の暮らしをよりよく タカラスタンダード、こども食堂への寄付を実施

システムキッチン・バスを中心とした住宅設備機器メーカー・タカラスタンダード株式会社（本社：大阪市城東区、代表取締役社長：渡辺岳夫）は、全国のこども食堂を応援する活動をしている NPO 法人全国こども食堂支援センター・むすびえを通じて、こども食堂への寄付を行いましたのでお知らせいたします。



タカラスタンダードは、2021年に策定した「中期経営計画 2023」の基本戦略の一つに「ESGへの取り組み強化」を掲げ、社会・環境問題への取り組みを促進することで、企業価値のさらなる向上を目指しています。

そしてこの度、創業 110 周年記念事業を契機に、キッチンの国内トップシェアを誇る当社だからこそ、「食」への支援を通じてすべての人の暮らしをよりよくしたい、と考え、「こども食堂の支援を通じて、誰も取りこぼさない社会をつくりたい。」という NPO 法人全国こども食堂支援センター・むすびえの想いに賛同し、寄付が決定しました。今後、より内容を広げた支援についても検討していきます。

タカラスタンダードはこれからもさまざまな取り組みを通して、より多くの人により心地よい暮らしを楽しんでいただけるよう努めてまいります。

### <タカラスタンダードとは>

1912年創業。『ずっと「愛せる」というしあわせ。』をブランドコンセプトに、独自の「高品位ホーロー」技術を活かしたシステムキッチン・バスを中心とした住宅設備機器を製造販売。より高度化、多様化、複合化するお客さまのニーズにお応えするホーロー技術のリーディングカンパニーとして、また住宅設備機器のトップメーカーとして、次世代を担う新たなホーローの可能性を追求し、快適な暮らしの創造を目指しています。

[設立：1912年5月30日（創業110年） / 売上高<連結>：2,115億円（2021年度） / 従業員数<連結>：6,298名（2022年3月末時点）]